公務員宿舎の早期整備を求める意見書

本町は，安芸ブロックの地域拠点として，広域的な役割を担うことがより強く求められる重要性の高い地域であることから，積極的に拠点としての強化を進めているところである。

一方で，少子高齢化の進展等に伴う人口減少が続く中，平成９年７月から平成１９年７月の公務員宿舎移転終了までに，つくも町において，２０７世帯・５７５人の人口が減少し，小・中学校の児童・生徒数が約２００人も減少している。

そのため町行財政運営においても，国有資産等所在市町村交付金の減収や人口減に伴う住民税の減収により，少なからず影響を受けている。

本町においては，１万３千㎡という広大な公務員宿舎跡地の今後の利活用計画について，注意深く見守っているところであるが，先般，財務省より示された宿舎整備計画の白紙からの検討という方針については，議会としても大変危惧している。

当該跡地は，ＪＲ海田市駅からも半径５００ｍ，徒歩約５分圏内の好立地にあり，公務員宿舎を建設するに最適な場所である。

今後の地域経済の発展，消費需要の創出，商業等の活性化を推進するためにも，早期に公務員宿舎を整備することについて決定していただくよう，強く求める。

以上，地方自治法第９９条の規定により，意見書を提出する。

平成２３年３月１８日

海　田　町　議　会